

月刊 発達教育

購読受付中



読者の声

- ▶ どのテーマも良くて、学びになり、励みになります。多様なテーマで子どもの理解を深められるのでこれからも楽しみにしています。
- ▶ この雑誌の価値は、保護者やサービス利用者の視点を知ることができるという点です。ほかの雑誌では、支援者中心の内容のため、なかなか当事者のことを知ることができません。今後も、そういった視点や記事を残しつつ、今日の・明日の支援に生きる内容をお願いしたいと思います。
- ▶ 親としてはなんでこの子たちは発達障害なんだろう、この子たちは将来どうなるんだろうといろいろ悶々としています。こちらの雑誌は毎回素晴らしい内容でいつもたくさんのヒントをいただき、救われています。特集もほぼ毎回興味深い内容です。
- ▶ 困ったときの相談相手になってくれる頼もしい雑誌です。

2024
特集予定

発達支援のための
アセスメント
— 日常場面における
子どもの理解と支援 —

発達障害のある子と
不登校
— 周囲の大人が
できること —

発達障害のある人の
歯科治療最前線

ロールプレイで
アサーション・
トレーニング

スマートフォンや
タブレット、インター
ネットとの付き合い方

知的障害のある子の
好みを活用した支援

自閉症スペクトラムの
ある子と自主性

連載予定

- 医療からみたこだわり
— 神経発達症と強迫症 —
- 二次障害
- 家庭での学習をすすめるポイント
- 思春期・青年期のメンタルヘルス
への心理支援

※テーマ・タイトルは変更することがあります

親の気持ち — 理解し、支えるために

親として「発達」をめぐる葛藤

中川信子 ◆ 子どもの発達支援を考えるSTの会
言語聴覚士

特別支援学校小学部四年生男児の親です。割り切れない思いを書かせてください。

息子は三五〇〇で元気に生まれ、よく飲みよく眠り、お医者さんに「優等生だね」と言われるような赤ちゃん時代で、首すわりもハイハイも新米の母の目からは順調でした。離乳食がすすまない、ひどい人見知り、ことばが出ない、など気になることもありましたが、ぐっすり眠り、よく食べ、いいウンチが出て、育ちは順調だと自分に言い聞かせました。「何か、おかしいな」とはうすうす感じていたのですが、だれに相談したらいいか分からず、相談して病気とか障害とか言われるのも怖くて、そのままにいました。

一歳六ヶ月健診でことばが遅いこと、指さしをせず、目が合にくいと保健師さんに言われ、二歳で継続相談、そのあと、グループ参加を勧められ、三歳になると療育に参加し始めました。

療育には似た感じのお子さんがいて安心して話せるママ友もできました。通ううちにめきめき成長変化して行く子もいて、正直うらやましかったです。

結局、うちの子は伸びが思わしくなくて特別支援学校に通うことになりました。特別支援学校は先生方の指導的確であったかく、ここを選んでよかったと心底

「士から生まれて土に還る。そのすべての過程が発達」

いわゆる心理学界隈、発達障害界隈では、みんながこぞって「発達」「発達」と叫びます。この場合の「発達」とは「〇〇ができるようになる」という能力の向上、スキルの獲得、一直線の向上という意味合いが感じられます。

誰しも年を取れば以前できていたことができなくなります。これを「老化」「衰退」ととらえるのではなく長い人生を生きて来た勳章、「自然な発達の姿」と考えることができますか。

練習や訓練で老化スピードをいくぶんかは遅らせられますが、生理的に衰えて行くのを「練習が足りない、根性が足りない、もつとがんばれ！」と言われ続けたり、日々できないこと増加中の私も、とてもつらい気がするでしょう。

ほぼ同世代の心理学者、浜田寿美男先生。先生の講演でじかに聞いたのだと思うのですが、とても印象に残っていることばがあります。

「私たちは全員、生まれて死ぬ。土から生まれて土に還る。そのすべての過程を『発達』ととらえたい」と。

「発達」を上へと伸びる一方ととらえずに、今ここに存在するみつともなさやどうしようもなさを含めた姿全体の受け止めとして考えられるといいのですが。

Development

Developmentの意味、お聞きになったことがあるでしょう。velop(包み込む)を接頭語で否定したものだそうです。つまり球根みたいに、包まれているものがほどかれて中にあるものが出てくる、それが発達、ということ。

走るのが速い子・遅い子、勉強向きの子・苦手な子、文字通りの多様な「その子らしさ」は最初から球根の中に入っている、ということ。

私自身、他の発達なお子さんを見て、うらやましく思わなくなったのは、息子が成人してだいぶたってからです。そこまでの道行きが全部大事を経験だったのだなあ、と今は思えるようになりました。

質問者さんもたくさん苦しいことや葛藤の中から、あなたなりの「発達」の考え方を手に入れられるといいですね。

浜田寿美男「『発達』を問う」ミネルヴァ書籍 2023年
https://www.minervashobo.co.jp/book/b620544.html


13 発達教育・2023年9月号

2024
連載中

親の気持ち — 理解し、支えるために

親として「発達」をめぐる葛藤

中川信子 ◆ 子どもの発達支援を考えるSTの会
言語聴覚士



発達教育・2023年9月号 12

2024
連載中

親の気持ち
— 理解し、支えるために
中川信子
(子ども発達支援を考えるSTの会)

人としての成長を
見つめる
湯汲英史 (発達協会)

先生の疑問から考える
クラスの中で困って
いる子どもへの対応
日戸由刈 (相模女子大学)

家庭でできる療育
橋本美恵 (発達応援室 みえる)

睡眠環境を整えよう
— 発達障害と睡眠障害 —
小坂拓也 (福井大学)

イメージを支える
素材と小道具
熊田広樹
(旭川市立大学短期大学部)

ユンタにまつわる
あれこれのこと
たちばなかおる

発達を促す遊び・運動
井上和博 (鹿児島大学)

知的障害がある子の
認知発達を理解する、
支援する
植竹安彦 (発達障害臨床研究会)

成人期の暮らし
あなたの子育て相談室
私の子育て日記
自立を支える暮らしの力
など

実行機能の定型・非定型発達

実行機能の定型・非定型発達

実行機能の定型・非定型発達

自立を支える暮らしの力

ボタンをはめる、はずす

ボタンをはめる、はずす

あそびBOX

あそびBOX

あそびBOX

月刊 発達教育

2024年度

年間購読のご案内



発達につまずきのある子どもに関わる学校や園の先生、さまざまなセラピストや保健師、子育て中のお母さん、お父さんから支持をいただいている月刊誌です。

好評連載中!

親の気持ち—理解し、支えるために
中川信子 (子どもの発達支援を考えるSTの会)

人としての成長を見つめる
湯汲英史 (発達協会)

自立を支える暮らしの力
成人期の暮らし
あなたの子育て相談室
私の子育て日記 など

2024年度特集予定

発達支援のためのアセスメント—
日常場面における子どもの理解と支援—

発達障害のある子と不登校
—周囲の大人ができること—

発達障害のある人の
歯科治療最前線

ロールプレイで
アサーション・トレーニング

※テーマ・タイトルは変更することがあります

月刊 発達教育 B5版・44ページ

年間購読料 4,800円 (送料・税込)

こちらからも
お申し込みできます



購読ご希望の方は申込書に必要事項をご記入の上、郵送かFAXでお申し込みください。※書店では販売しておりません。

購読申込書

ふりがな		E-mail			
氏名		TEL	FAX		
ふりがな			職業		
住所	〒				
お申込み年度 (ご希望の年度に○をつけてください)					
<input type="radio"/>	2024年度年間購読 (2024年4月号～2025年3月号以降自動継続) 4,800円 (送料・税込)				
<input type="radio"/>	2023年度 (2023年4月号～2024年3月号までお届けします) 4,800円 (送料・税込)				

※本申込書に記載した個人情報が当協会の啓発事業 (公開研修会等) の案内に利用されることに同意の上、申し込みます。

公益社団法人 発達協会 ホームページ <https://www.hattatsu.or.jp/>

☎ 115-0044 東京都北区赤羽南2-10-20 TEL 03-3903-3800 FAX 03-3903-3836